

ご挨拶

運営会議議長

いわつ せいじ
岩津 聖二

(富士通Japan㈱)



一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（以下、JAHIS）会員の皆様、平素よりJAHISの活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年は、医療DX推進に向けた環境が大きく変化した一年でした。4月の改正次世代医療基盤法施行による仮名加工医療情報の活用拡大、医師の働き方改革、6月の診療報酬改定、近未来健康活躍社会戦略公表、そして救急時医療情報閲覧運用開始とマイナ保険証基本化など、数々の政策が施行され、保健医療福祉情報システムを取り巻く状況は大きく変容しました。これらの変化に対応するため、JAHISは、会員企業と共に、積極的な活動を実施してまいりました。

JAHISの2024年度の活動は、大きく分けて以下の3点に集約されます。

第一に、全国医療情報プラットフォームへの対応です。事業企画推進室を中核に、医事コンピュータ部会、医療システム部会、保健福祉システム部会が連携し、Action1～3に関連した取り組みを推進しました。具体的には、電子カルテ情報共有サービスに関する技術解説書や仕様書の整備、オンライン資格確認システムの救急現場での活用に向けたセキュリティアセスメントへの協力、電子処方箋の導入拡大と機能拡充、自

身の保健医療情報を活用できる仕組みの拡大に向けた情報提供など、多岐にわたる活動を実施しました。

第二に、標準化の推進です。標準化推進部会では、JAHIS標準6件、技術文書5件を制定するなど、医療情報の標準化に向けた活動を精力的に進めました。これは、医療情報の相互運用性確保、ひいては医療の質向上に大きく貢献するものです。また、HELICS協議会への参画や国際会議への参加を通じ、国際標準化にも積極的に取り組んでいます。

第三に、会員サービスの向上です。総務会では、定時社員総会や理事会などの年間行事を円滑に開催し、会員専用サイト（MyPage）の機能改善を継続的に実施することで、会員サービスの向上に努めました。また、会員企業の増加（新規9社、ランクアップ2社）も、JAHISの活動が着実に成果を上げていることを示していると考えております。

さて、JAHISは創立30周年という節目を迎え中期計画2029に向けた新たな一步を踏み出します。変化の激しい医療IT業界において、会員企業の皆様と更なる発展を目指し「2030ビジョン実現に向けた戦略的推進」「JAHIS参画価値の向上」「JAHISブランドの強化」の3本柱を掲げ、未来を創る活動をいたします。

I. 2030ビジョン：データ循環型社会の実現へ

2030年を見据え、データ循環型社会の実現に貢献するため、戦略的な情報発信と政策提言を強化します。具体的には、厚生労働省「医療DX令和ビジョン2030」やデジタル庁施策、国際動向を踏まえ、全国医療情報プラットフォーム構築、電子カルテ情報共有サービス本格運用、PHR普及促進、診療報酬改定DXなどへの具体的な提言を関係省庁・団体へ発信してまいります。

標準化においては、JAHIS標準類の策定・改定、普及促進を戦略的に推進します。国際標準との整合性を確保しつつ、日本の医療現場ニーズに合致した標準化を進め、医療情報の相互運用性を高めます。標準化推進部会（国内標準化委員会、国際標準化委員会、普及推進委員会、安全性・品質企画委員会）の連携強化により、JAHIS標準類の質向上と普及に努め、特に国際標準化委員会は日本発の国際標準提案を積極的に推進します。

医療DX推進における不可欠な要素であるサイバーセキュリティ対策にも注力します。戦略企画部は、会員企業への情報提供、セミナー開催等を通じて、サイバーセキュリティ対策の意識向上と強化を図り、関係機関との連携強化により業界全体のセキュリティレベル向上に貢献します。

II. 会員価値の向上：会員企業の成長支援

JAHISが会員企業にとって不可欠な存在となるよう、会員サービスの充実を図ります。診療報酬改定、標準化動向、サイバーセキュリティなど、会員企業が直面する共通課題に対して、迅速かつ的確な情報提供と支援を行います。医事コンピュータ部会、医療システム部会、保健福祉システム部会は、それぞれの専門分野において、タイムリーな情報提供、関係機関との連携強化、ビジネス機会拡大に貢献します。

会員企業の技術力向上のため、セミナー、勉強会、教育コースなどを積極的に開催します。事業推進部は教育事業委員会と連携し、会員ニーズに合わせた質の高い教育プログラム（オンデマンド、オンライン、ハイブリッド形式）を提供します。

III. JAHISブランドの強化：持続可能な運営基盤の確立

業界をリードする存在として、JAHISのプレゼンス向上と持続可能な運営基盤の構築を目指し、各省庁、関係団体、学会などとの連携強化を図ります。事業企画推進室は関係機関との窓口となり、情報収集、提言活動、共同事業などを推進します。

組織体制強化のため、コンプライアンス体制の強化、情報システムの改善、人材育成に注力します。戦略企画部は部会横断的な課題に対応できる体制を構築し、柔軟かつ迅速な対応を実現します。コンプライアンス委員会は競争法コンプライアンスの徹底と啓発活動に努め、情報システム検討委員会は情報システムの更なる改善とペーパーレス化を進めます。さらに若手人材の育成、会員企業OBの活用など、多様な人材育成施策を展開します。

JAHISは、30周年を新たな出発点として、会員企業と一体となり、医療DXを推進し、安全で質の高い医療を実現するための基盤構築に貢献していきます。医療IT業界の未来を共に創造し、持続可能な社会の実現に邁進いたします。何卒よろしくお願いいたします。